

学 園 だ よ り

# 太 白 山

(平成29年10月発行)

宮城県さわらび学園

〒982-0215

仙台市太白区旗立2丁目4-1

TEL : 022-245-0333

FAX : 022-245-0515

<http://www.pref.miyagi.jp/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

## 第68回 全日本少年野球大会

### 全国大会概要

日程 8月28～30日

場所 大阪府

### 試合結果

宮城県さわらび学園

2-7

名古屋市玉野川学園

### 監督談話

野球部コーチ 木浪 琢磨

8月28～30日まで、大阪で全日本少年野球大会が行われました。さわらび学園は初戦、関西電力総合運動公園野球場にて、名古屋市玉野川学園と対戦しました。仙台とは違い、気温、湿度ともにとっても高く、辛い状況でした。そのような辛い状況でも、試合に出場した選手達は、一生懸命戦ってくれました。結果は2-7で負けてしまいましたが、みんなの心には一生懸命やりにきる気持ちと、みんなで頑張るという大切さを知ることが出来たと思います。そして、何よりも試合後に泣くことが出来た児童がいたことが素晴らしいことだと思えました。心身ともに成長したことや、頑張れば出来るという自信を大切にし、今後の生活に生かして欲しいと思います。

## 全国大会を振り返って

### 野球部児童 F

全国大会に行って思ったことがいくつかあります。

一つ目は、地区大会とは少し感じが違うなと思いました。地区大会では、各県の代表として戦ってきた、地区大会とは違い全国大会では、各地方を代表して出ています。さわらび学園は東北・北海道地区の代表として1位、2位のチームしか行けず、7チームの代表としてさわらび学園を出してもらったので、みんなピリピリしながら、地区大会では出来なかった、止まって挨拶をするなどのことが出来ていたなと思います。

二つ目は、玉野川学園と対戦したときは、ピッチャーが肩を痛めていたり、緊張してミスにミスが重なってしまったり、最悪のコンディションで迎えました。玉野川学園には2-7で負けてしまったけれども、雰囲気良く出て良かったです。

三つ目は、声かけですべてが変わるということ。玉野川学園のときに負けていて、タイムを取りマウンドに集まると、みんな笑いながら話しをし、そのあとも打たれたけど最後までやる気をなくさずに出来ていたり、僕が

## 全国大会の写真

二塁打を打ったとき、審判から、ナイスタッシュと言われる、諦めずに最後まで頑張りました。今回の全国大会では、中三生最後の野球になりました。これからは中二が一番上になるので、中三生に教えられたことを大切にして、これからの野球練習に取り組んでいきたいです。



## 分教室修学旅行

中学部三年担任 上崎 綾

三年生は東京・横浜に修学旅行に行ってきた。生徒たちは事前学習で決めたことをしっかり守り、充実した楽しい修学旅行にすることができました。行程を紹介します。

9月13日(水)

○横浜中華街

・中華料理食べ放題と中華街散策。

○カップヌードルミュージアム

・カップヌードル誕生について学習。

・世界にひとつだけのカップヌードル作成。

○ルミネザよしもと鑑賞

9月14日(木)

○日本未来科学館

・3Dドームシアター

『九次元から来た男』鑑賞

・アシモ実演見学

・デイズニーアート展見学

○東京デイズニーランド

・みんなで『カリブの海賊』に乗りました。

9月15日(金)

○江戸切子体験

○浅草寺参拝・仲見世散策

○東京スカイツリー見学

## 「修学旅行を通して」

修学旅行実行委員長 中学三年 D

私たち三年生は「初志貫徹く礼儀正しく雰囲気良く思い出を作ろう」をスローガンに掲げ、修学旅行に出発しました。

まず、最初に行ったのは、横浜中華街です。「中華街大飯店」という店で昼食を食べました。一番おいしかったのはエビチリでした。おいしかったのですが、辛くて大量にお茶を飲んでしまいました。夕方はルミネというところで吉本の漫才のギャグを観てきました。その中で感じたことは、テレビで観るより生で見た方が数倍面白かったです。

二日目は、日本未来科学館に行きました。その中で一番印象に残っているのは、現物のアシモです。ロボット感が出ていて、かわいかったです。次に、今回の修学旅行で一番楽しみにしていたデイズニーランドに行きました。行く前はお土産優先で考えていましたが、予想以上にアトラクションが楽しくてお土産を買う時間がかなり少なくなっていました。一番楽しかったアトラクションは「スペースマウンテン」です。屋内ジェットコースターで、普通のジェットコースターより

かなり怖かったです。

三日目に行ったところは浅草です。浅草では江戸切子を作りました。最初はコツをつかめず失敗ばかりしていましたが、コツをつかめたらかなり早くその後はミス無く作ることができました。次に行った浅草寺や仲見世では、お土産などを買いました。最後は、世界一高い電波塔となっているスカイツリーに行きました。スカイツリーでは残金が16円で何も買えませんでしたが、眺めは最高でした。

この修学旅行を通して、研修もしつかり行え、楽しむこともできました。本当に楽しい修学旅行でした。

## 修学旅行の写真館



## 分教室修学旅行

小学部担任 佐々木 健太

小学六年生は、福島県会津若松方面に修学旅行に行ってきました。児童は事前指導の段階から今回の修学旅行を楽しみにしており、非常に意欲的に活動に取り組んでいました。当日も早め早めの行動を心掛け、とても有意義な体験をすることができ、楽しい思い出を残すことができました。行程を紹介いたします。

9月13日(水)

○鶴ヶ城

・天守閣に登る。

○赤べこ絵付け体験 番匠

・自分だけの赤べこ作り体験。

○飯盛山

・白虎隊自刃の地を見学。

9月14日(木)

○天鏡閣

・大正天皇の別荘内を見学。

○猪苗代湖

・磐梯遊覧船で猪苗代湖を一周。

○野口英世記念館

・野口英世の歴史について体験を通して学習。

私は、9月13日から14日までの二日間会津若松に修学旅行に行ってきました。

一日目は、若松城に行き、天守閣に登り刀や銃を実際に持つことができ楽しかったです。その後、赤べこの色付けをして上手くかけました。その後、飯盛山を疲れながらも歩いて登り、自刃の地に行き、扇子で自刃の真似をしました。その後旅館に行き、風呂に入り、バイキングで刺身をいっぱい食べてきました。

二日目は、天鏡閣に行き、暗くて怖かったのですがとまわりました。猪苗代湖では、水につかったり、遊覧船に乗って一周したりしました。その後、野口英世記念館に行ってゲームなどをし、時間が余ったので隣のラーメン館にも行きました。

最後に、全体を通してとても充実していたと思います。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思っています。

修学旅行の写真



F A S カップ

(南三県スポーツ交流会)

F A S カップ概要・結果

1寮長 遠藤 敏博

平成17年度までは朝日学園と福島学園とは別々に交流会を行っていました。平成18年度より南東北三県の交流会として各施設の頭文字をとったF A S カップが始まり、今回のキビタンカップ2017で12回目の開催となりました。

野球部については、全国大会後から中学三年生以上は受験勉強に切り替え、小学生と中学1・2年生の新チーム(中3の1名は希望して残留)で参加しました。試合結果は一勝一敗(同点でくじで負ける)で準優勝でしたが、結果もさることながら、新レギュラーの頑張り、それをサポートする先輩達の姿を見られたのが大きな収穫でした。集中力を切らしてふざけたり、トラブルの原因を作って注意を受ける児童もいましたが、それでもそれぞれの児童の成長が見られた大会でした。

監督談話

バドミントン部監督 池田 千郷

今年度、児童が四名しかない女子寮にきたF A S カップの団体戦の

オーダーはダブルスが1(2名)、シングルが2(2名)でした。1人欠

けてしまうと試合が成立しない状況下での練習は非常に困難を極め、途中離脱や雰囲気悪さなど、試合当日まで気の抜けない日々が続きました。

迎えた当日、緊張の面持ちで試合に臨んだ子どもたちは、それまでの練習の様子や嘘のように気迫あるプレーで戦い、団体戦二位、個人戦一位・二位という輝かしい成績を収めました。笑顔や泣き顔、悔しがる顔、その全てが今までのバドミントンの取り組みを表していたと思いました。

今回を期に引退した児童には、F A S カップから得たもの今後の生活へ活かしていくことを期待し、今後も支援を続けていきたいと思っています。

最後に、監督・職員として、そして人間的にも到底未熟であった私を監督と見てくれた子どもたち、常に支えてくださった学園職員の皆様や教室の先生方及び関係機関保護者の皆様のものと、活動を続けてこられたことに感謝します。本当にありがとうございました。

バドミントン部員作文

F A S カップを終えて すみれ寮 K  
今年のF A S カップは福島学園

主催のもと、女子は須賀川市中央体育館で試合を行いました。

団体戦は、朝日学園に2対1で勝ち、福島学園には1対2で負けました。団体戦の結果は第二位でしたが、ダブルスだった私はチームに貢献することができなくて悔しかったです。

個人戦ではシードに入り、二回戦目に福島学園の子とあたり負けてしまいました。しかし、敗者復活戦を勝ち進み、同寮のTに15対9で勝ち、Mとの決勝戦も15対8で勝利し見事優勝することができて嬉しかったです。今年度は団体と個人みんな良い結果を残せて良かったです。最後の試合が良い思い出になりました。

野球部員作文

F A S カップの感想 広瀬寮 R

6月の地区大会決勝戦では、4点差で負けていたのを最終回で追いつきました。しかし、エースピッチャーが倒れてしまい、緊急で延長8回の表から自分が投げました。緊張のあまり体が固まって自分のプレーが出来ず、フォアボールやヒットで22点取られ負けました。この事がトラウマになっている中、鹿内監督を始めコーチや仲間、応援してくれる先生方、なによりも両親が支えになり厳しい練習に耐

える事が出来、F A S カップに望むことが出来ました。中学3年のほとんどが引退し、1名以外中2以下のチームでした。僕は初戦の朝日学園戦でピッチャーをしました。マウンドに立った時、学園生活最後の試合になる、どうせなら楽しくやると決意して第一球を投げました。その球は今まで以上に良い投球で、そのまま投げ続けて夢の空振り三振が取れました。僕はそのアウトが嬉しくて、それをバネにしてその回を投げきり、嬉しくて泣きたくなる程でした。相手チームには職員が入っていて打たれましたが、フォアボールは出さず完投できました。同点で、最後にくじ引きで負けましたが、完投出来たのは支えてくれる力があつたからだと思います。本当にこのF A S カップは僕の中でとても大きな糧になったと思います。最高の思い出のF A S カップでした。

### F A S カップの写真



### すみれ寮長より

すみれ寮長 間宮 弘美

“平和・協調”プラス発言を大切に”をスローガンに掲げ、平成29年度をスタートしました。みんなで話し合っただけの決めたスローガン、穏やかに生活したいとの願いが込められていると思います。そうは言っても個性豊かな四人のメンバー、日々の生活の中で協力もあれば、うまくいかないことも多々あります。

時にはリヤカーに乗っておふざけを楽しみ(写真①)、社会見学では石巻方面へ行き、復興に思いを馳せ(写真②)、ボランティアさんに浴衣を着せて頂き(写真③)、しおらしくお抹茶を頂いたこともありました。

このような行事を取り入れながら、毎日の日課に取り組み、それぞれの課題に向かって頑張っています。弱い自分と向き合わなければいけないこともありますが、目標に向かってたくましく成長してくれることを願っています。



①



②



③

### 年長生係より

年長生係 菅原 匡

平成29年度年長生の日々の生活や、社会参加の状況等について紹介したいと思います。

年長児支援では、進学や就職に向けた基礎学力の向上、就労等に必要となる中力、忍耐力の育成、趣味や教養の幅を広げ生活を豊かにすること等を狙いに日課を組み合わせています。園内活動としては、教科学習、年長児畑での野菜栽培、公用車洗車等、縁の下の力持ち的活動を通じ、年長児としての役割意識や自主性が培われています。また、新たな取り組みとして、ゴミ集積場やバス停の清掃等の地域貢献活動を開始しました。地域の方から差し入れを頂くなど、嬉しい出来事もありました。

園外・他機関連携として昨年同様に宮城大学坪沼農場に月2回の頻度で農作業実習に出向き、野菜栽培のノウハウを学ぶ、外部機関の方との関わりで、コミュニケーションの取り方の実践、分教室OB職員の数学授業を受講し、苦手意識の克服等、外部機関連携による相乗効果も見られています。今年度も折り返し時期となりましたが、対象児童の特性やニーズに応じ

た支援を展開することで、自立支援の目標達成に繋がるように児童職員で努力していきたいと考えております。

### 学園の今後の予定

- 10 / 27 学園祭 (合)
- 11 / 8 器械体操発表会 (分)
- 11 / 10 生徒会役員選挙 (分)
- 漢字検定試験 (学)
- 11 / 15 中間考査 (分)
- 11 / 16 中間考査 (分)
- 動物ふれあい授業 (分)
- 12 / 3 岩沼 A P マラソン (学)
- 12 / 20 クリスマスマス子ども会 (合)
- 12 / 25 冬季休業 (1 / 8)
- 12 / 28 帰省期間 (1 / 4)
- ※ (分) 分教室行事・(学) 学園行事・(合) 分教室・学園合同行事

### 編集後記

児童は学園祭に向け、意見発表・ぶち合わせ太鼓の練習に励んでおります。学園祭では、児童の成長した姿を見て頂くことができるよう、児童・職員が「丸となり、「オールさわらび」で成功させたいと頑張っております。児童は、保護者からの励ましの言葉が、学園生活のなによりの励みになります。是非、ご参加お願いします。